

公 示 用

令 和 6 年 度

設 計 書

役務名 茨 戸 西 部 中 継 ポ ン プ 場 計 装 設 備 点 検 業 務

令 和 6 年 6 月

【業務委託設計書作成基準の公表について】

- (1) 業務委託費の積算の透明性・妥当性を図ることを目的として、本市の業務委託設計書作成基準を一部、公表しています。
- (2) 公表は、下水道庁舎1階の閲覧コーナーにある閲覧用パソコン(2台設置)で行っています。
- (3) 提供時間は開庁日の午前9時から午後5時までです。(12時15分から13時00分を除く。)
- (4) 閲覧に当たっては、備付けの情報提供設計書閲覧・複写届に必要事項を記入し、窓口に提出してください。
- (5) データの閲覧又は、CD-Rへの複写が可能です。CD-Rは持参してください。

業務委託設計書作成基準を公表しているのは、下表の業務である。

業務項目	対象施設、設備等
運転管理業務	拓北T、伏古川T、東部T、定山溪T、厚別T、茨戸T
	西部SC焼却、西部SC脱水、東部SC、手稲沈砂洗浄C、厚別洗浄C
融雪施設運転管理業務	創成川融雪管、厚別融雪槽
維持管理	埋設圧送管、MP施設等
汚泥等運搬業務	沈砂等、定山溪プラザ濃縮汚泥、東部SC等脱水汚泥
焼却灰運搬業務	西部SC
クレーン性能検査整備	
電気設備点検	特別高圧、高圧電気、計装、高圧電動機等、シーケンサ等、直流電源
エレベータ点検	
消防設備点検	
庭園管理	
構内除雪	

札幌市下水道河川局事業推進部
新川水処理センター

役務名

茨戸西部中継ポンプ場計装設備点検業務

一金 内訳	{	業務委託費	円
		業務価格	円
		消費税等相当額	円

業・務 説 明

1 業務の概要

茨戸西部中継ポンプ場の計装設備は流量等を測定記録すると共に、機器の制御を行う重要な役割を果たしている。これらの設備の故障を未然に防止すると共に信頼性を向上させるため、本点検を行うものである。

2 履行期間 ☒ 契約締結日から 令和 6年12月20日まで

☐ 令和〇〇年〇〇月〇〇日から 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

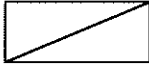
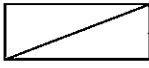
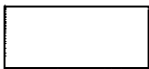
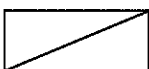
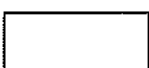
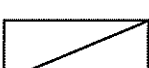
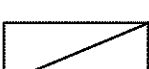
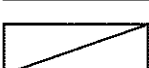
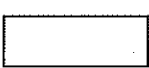
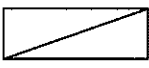
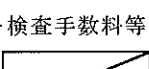
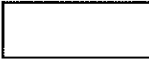
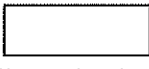
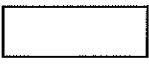
3 仕様書 ☒ 別添共通仕様書及び特記仕様書による。

☐ 別添仕様書による。

業務委託総括表

〔役務名〕 茨戸西部中継ポンプ場計装設備点検業務

(一金) 円

業務委託費											
業務価格	業務原価	直接業務費	輸送費		第 号内訳書						
			材料費		第 号内訳書						
			労務費		第 1 号内訳書						
			複合工費		第 号内訳書						
			直接経費		第 2 号内訳書						
		間接業務費	仮設費		第 号内訳書						
			運搬費		(積上げ分)						
			準備費		(積上げ分)						
			安全費		(積上げ分)						
			技術管理費		(積上げ分)						
一般管理費等		第 6 号内訳書									
検査手数料等		第 号内訳書									
消費税等相当額											
		共通仮設費		第 3 号内訳書							
		現場管理費		第 4 号内訳書							
		業務間接費		第 5 号内訳書							

(委託設計書 様式3)

第 1 号 労務費内訳書

円也 (原)

一金

円也 (設変)

内 訳 書

名 称	形 質	単位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
技術者		時間	217			
電工		人	1			
計						

第 4 号 現場管理費内訳書		
名 称	積 算 計 算	金 額
現場管理費	現場管理費＝(直接業務費＋共通仮設費)(X) × 現場管理費率(Y)	
	= ×	
	= 円	
第 5 号 業務間接費内訳書		
業務間接費	業務間接費＝ 技術労務費 × %	
	= ×	
	= 円	
第 6 号 一般管理費等内訳書		
一般管理費等	一般管理費等＝ 業務原価(X) × 一般管理費等率(Y)	
	= ×	
	= 円	

